

## 入試全般について

**Q** 大阪工大に進学したいのですが、公募制推薦入試と一般入試ではどちらが合格しやすいですか？

**A** それぞれの入試に特長がありますので一概にどちらが合格しやすいということはありません。しかし、本学の志望順位が高い場合は、公募制推薦入試から受験する方がそれだけ合格のチャンスが広がるということもありません。なお、公募制推薦入試と一般入試では問題難易度が異なりますので、あなたに合う入試はどちらかをよく考えて選んでください。

**Q** 大阪工大の試験対策はどのようにすればいいですか？

**A** 試験対策の1つとして、過去に出題された問題を解いてみるという方法があります。過去問題集には出題形式も載せていますので、同封している前年度分の入学試験問題集を活用してください。なお、Webサイトでは過去2年間の問題を掲載する予定です。前年度の入試結果については、P23以降に掲載していますので参考にしてください。

**Q** 情報科学部と工学部では学科によって数学の試験の出題範囲が違いますが、なぜですか？

**A** 2つのグループがあります。出題範囲が数学Ⅲ（一般入試は数学Cを含む）までのグループと、数学Ⅱ・Bまでのグループです。いずれのグループも入学後専門教育を受けるにあたって高校数学が一定の水準以上身に付いていることが必要です。しかし、専門教育を行ううえで数学Ⅲレベルより数学Ⅱ・Bレベルまでが十分理解できていることを重視する学科もあり、すべての学科を同じ出題範囲にするのではなく、それぞれの学科の特性に合うよう2つのグループに分けています。ですから、高校で数学Ⅲを履修したが十分に定着していない、また履修していない場合でも「ものづくりに興味がある」「将来エンジニアになりたい」という熱意のある人の受験を大いに歓迎します。ただし、数学Ⅱ・Bまでの出題範囲グループの学科であっても、入学後に数学Ⅲ・Cのうち必要な領域を授業や補習授業などで学ぶことになります。知的財産学部に限っては、入学後専門教育を受けるにあたって、多くはありませんが工学との連携科目もあり数学Ⅰ・Ⅱレベルの学力も必要になる場合があります。

**Q** どうして工学部建築学科と都市デザイン工学科間、電子情報通信工学科と電気電子システム工学科間での第2志望制があるのですか？また、どちらを第1志望にしたほうが合格しやすいですか？

**A** それぞれの学科の教育内容は大学案内に掲載していますが、第2志望制のある学科間には共通の分野があり、いわば親戚関係にあるのがおわかりいただけると思います。2学科間の第2志望制はこの理由により導入しています。具体的には、入試成績により第1志望学科に不合格となった人を第2志望学科で再度合否判定するというシステムですが、第2志望学科での判定の際には第1志望者より合格最低点を高くしますので、第1志望とした人が有利になるよう配慮をしています。詳しくはP22をご覧ください。

**Q** 合格後、入学までしておかなければならないことはありますか？

**A** 情報科学部と工学部において、公募制推薦入試では理科を課していません。また、前期C日程と後期C日程では本学個別の学力検査等を課していません。しかしながら、大学の授業は、数学、理科、英語の基礎学力が身に付いていることを前提に行います。知的財産学部については、特に英語や国語の基礎学力が必要です。また、多くはありませんが工学との連携科目もあり数学Ⅰ・Ⅱレベルの学力も必要になる場合があります。合格から入学までの期間を無駄に過ごさず、入学後スムーズに勉強できるように教科書を復習する程度でよいので、継続的な自学自習などで備えてほしいと思います。なお、公募制推薦入試、専門高校特別推薦入試、AO入試、ものづくり・調査研究AO入試で入学する人に対しては、合格後入学までに相当の期間がありますので、入学前教育プログラムを実施します。

## 公募制推薦入試について

**Q** 公募制推薦入試スタンダード方式の受験を考へていますが、高得点重視方式も併願した方が合格しやすいですか？

**A** 併願すれば方式ごとに合否判定を行いますので、一般的には合格の可能性は高まると考えられます。本学の公募制推薦入試は1回しか実施しません。どの学部も2教科のテストの合計得点で合否判定を行います。スタンダード方式では1教科が良くても他の教科の得点が低いと合計点でボーダーラインに達しないことがあります。しかしこんな場合でも高得点重視方式を併願しておけば、良くできた教科の得点を2倍することで得点率をある程度挽回することができます。なお、高得点重視方式はスタンダード方式と同時出願することが条件です。

**Q** 女子優遇制度とはどんな制度ですか？

**A** 男子にはない能力や感性を持つ女子の知的財産スペシャリスト、エンジニアを育成するため、公募制推薦入試では女子優遇制度を設けています。具体的には、学科別に合格最低点を設定したあと、女子に限って合格最低点に届かない場合でも一定の点数以上であれば合格とする制度です。前年度の結果については、P24をご覧ください。

**Q** 特待生を目指しています。すでに公募制推薦入試で合格し入学手続きを済ませていますが、特待生の対象となる一般入試で同一学科を受験することはできますか？

**A** 受験できます。2013年度入試でも公募制推薦入試で合格、入学手続きを終えた後、入学検定料が全額免除となる優遇制度を利用して一般入試前期A日程・B日程で特待生にチャレンジし、一般入試特待生に選ばれた方が9人いました。チャレンジの結果、一般入試で合格できなかったとしても公募制推薦入試の合格と入学手続きは無効となりませんので、安心してチャレンジしてください。優遇制度の詳細はP10をご覧ください。

**Q** 公募制推薦入試に不合格となったら一般入試での合格は難しいでしょうか？

**A** そんなことはありません。前年度の場合、公募制推薦入試に合格できなかった138人が再チャレンジで栄冠を手に入れました。また、一般入試の各日程間の併願でも同様のことが言えます。前期日程で不合格でも後期日程で合格という方が相当数いました。最後まであきらめずに頑張ってください。

## 一般入試について

**Q** 一般入試前期A日程では試験日によって有利・不利はあるのですか？

**A** 試験日によっての有利・不利はありません。一般入試前期A日程は2日間実施していますので、試験日によって試験問題は異なりますが、入試問題作成の時点で十分検討し、いずれの試験日の問題も同じ難易度になるよう配慮しています。さらに合否判定の際には、各試験日の科目毎に得点調整を行い、問題難易度を均一化します。つまり、万一特定の試験日の問題だけが難しく平均点が低くなって、得点調整することによって他の試験日の平均点と同程度にするため、不利にはなりません。安心してあなたの受験スケジュールに合った試験日を選んでください。

**Q** 一般入試前期AC日程や前期BC日程(独自試験と大学入試センター試験の併用入試)のメリットは何ですか？

**A** 大学入試センター試験(以下「センター試験」)用の勉強がそのまま一般入試でも生かせる点です。センター試験と独自試験では出題範囲や出題傾向が異なり、それぞれに応じた勉強が必要で想像以上に大きな負担がかかります。せっかく頑張っているのだから両方の成果を評価してほしいという受験者も多いです。この入試では両方の勉強の成果を十分に評価します。

**Q** 同じ日程で同一学部・学科を複数受験することはできますか？

**A** 一般入試前期A日程と前期C日程が可能です。一般入試前期A日程は2日間の試験日自由選択制で実施しますので、2日間とも同じ学部・学科を受験しても構いませんし、違う学科を受験しても構いません。複数日受験すれば合格のチャンスが広がります。また、大学入試センター試験得点を利用する一般入試前期C日程は2つの試験型を併願することで同一学部・学科の複数受験が可能です。

**Q** 選択する科目による有利・不利はありますか？

**A** 基本的にはありません。入試問題作成にあたっては、受験者が選択するうえで有利・不利が生じないように十分注意しています。しかし、結果として試験日間、選択科目間あるいは試験科目間で入試問題の難易等により受験者の平均点に差が生じた場合、有利・不利が生じないように得点調整を行うことがあります。

## 入学手続等について

**Q** 入学手続時の納入金の振替制度とはどんなものですか？

**A** 2つの種類があります。第一は本学内での振替制度です。例えば公募制推薦入試に合格し入学手続期間内に納入金を納めたのち、一般入試で別の学部・学科に合格し、そちらの学科に入学したい場合、先に納めた納入金全額を振り替えることができる制度です(過不足調整は必要)。第二はグループ大学間での振替制度です。本学のグループ大学である摂南大学、広島国際大学に合格して納入金を納めたのちに、本学に合格し入学したい場合、先にグループ大学に納めた納入金全額を本学に振り替えることができる有利な制度です(過不足調整は必要)。1つの学園に複数の大学を設置する利点の1つと言えるでしょう。

**Q** 入学手続で、1次手続と2次手続はどう違うのですか？

**A** 入学手続時納入金を納入する際、「2段階納入」と「一括納入」を選ぶことができます。「2段階納入」とは、1次手続として、所定の期間内に入学金相当額を納入のうえ、2次手続として所定の期間内に入学手続時納入金から入学金相当額を差し引いた金額を納入することをいいます。なお、1次手続をしていない場合は、2次手続はできませんので、注意してください。また「一括納入」とは、所定の期間内に入学手続時納入金を一度に全額納入することを指します。3月に実施する一般入試(後期日程、後期C日程)の入学手続は、この「一括納入」のみになります。

## その他

**Q** 大阪工業大学を見学したいのですが、いつ行ってもいいですか？

**A** キャンパスの見学はいつでも可能です。ただし、曜日・時間帯によっては、建物内に入れない場合があります。また、入試に関する説明や、詳しい案内を希望される場合は、本学Webサイトの「受験生の方」から「学部入試」にアクセスし、入試関連イベントの「大学見学会」から申し込んでください(P37参照)。なお、大学の内容がよくわかるのはオープンキャンパスなので、できるだけスケジュールを調整してオープンキャンパスに参加してください。詳しくはP35をご覧ください。

